日本共産党
市議会報告

明るい米子

2017年7月
日本共産党米子市議団／発行
米子市加茂町1－1

この報告は、市議会政務活動費で発行しています。

# 産廃処分場で水源地の水を汚染させるな！

## 岡村議員の 6月議会 一般質問

### 産廃処分場の地下水汚染「安全神話」にどっぷりつかった答弁に終始

伊木市長は自身のＦＢで「淀江でダメなものは他でもダメ。安全性のプロセスを確認したうえで判断していく」と、産廃処分場の安全性について述べています。

**岡村議員**　安全性の確認という点で、遮水シートは地震などで力が加われば破れ、汚染水が漏れ出て淀江の水を汚染する。その危険性についての認識は？

**伊木市長**　汚していい水や土地はどこにもなく、処分場の漏水対策は大変重要。

**市民人権部長**　多重の安全対策の連携により、万全の漏水対策を講じている、と伺っている。

―「安全神話」にどっぷりとつかった答弁です。

### 水源地の近くに産廃処分場はダメだ！

米子市淀江町に計画されている産業廃棄物管理型最終処分場。鳥取県条例にもとづき関係する半径５００ｍ以内の６自治会での説明会、関係住民からの意見書提出、それに対する事業主体となっている鳥取県環境管理事業センターからの見解書が出され、１週間の縦覧が行われました。

２９日開かれた市議会全員協議会では、この意見書・見解書について事業センターの瀧山理事長らから説明があったのち質疑応答がありました。

岡村議員は、平成１５年時点で事業センターがつくった処分場候補地の要件として周辺状況が「飲用水源地、もしくは飲用水源地に隣接していない土地」とあるが、その要件に反している。処分場から汚染水がしみ出れば、その下流にある米子市水道局の福井水源地の地下水に影響を及ぼしかねない、という地質研究者の指摘を取り上げて危険性への認識をただしました。

事業センターはまともな答弁を回避し、二重の遮水シートにベントナイト混合土層を加えた遮水構造で安全だ―との答弁を繰り返すばかりでした。

絶対に安全、ということがありえないことは福島第一原発事故を見ても明らかです。危険な処分場を、少なくとも水源地近くにはつくらせない！この声を上げていきましょう。

産廃処分場計画地の北側には米子市水道局の福井水源地があります

### 入学準備金の前倒し支給を！

低所得世帯の児童・生徒の修学の機会を保障する「就学援助」。「必要な時に、必要な支援を」という動きが全国的に広がっています。小学１年、中学１年の新入学時に支給される新入学用品費（入学準備金）ですが、日本共産党の畑野君枝衆院議員らの追及や世論に押され、文科省は小学１年は２０４７０円→４０６００円に、中学１年は２３５５０円→４７４００円にそれぞれ支給額を増額し、入学前の支給が可能となりました。

**岡村**　入学には重い保護者負担がかかる。支給時期を前倒しすべき。

**北尾教育長**　先進事例を調査し、課題を整理したうえで、実施が可能かどうか考えていきたい。

―入学準備金の増額、支給時期前倒しを求める声を上げていきましょう。

### 学校給食費の無償化は全国の流れ

**岡村**　子育て支援で、学校給食費の無償化が全国で広がっている。米子市でも導入に向け検討すべき。

**北尾教育長**　新たな財政負担は年間５億１千万円。境港市のような第３子以降無償化とした場合、２１００万円の経費が必要と試算される。

**岡村**　保護者負担の軽減を図るべき。

### 生活保護行政の改善を

今年１月神奈川県小田原市で福祉職場の担当者が「生活保護なめんな」とプリントしたジャンパーを着用して、生活保護受給者宅を訪問するという人権侵害事件が発覚しました。事の重大性から同市では「あり方検討会」を立ち上げ、生活保護行政の改善へ報告書を練り上げました。

**岡村**　この「報告書」から学ぶべき点はないのか？

**福祉保健部長**　ケースワーカーが職務に専念できる職場環境づくり、保護行政に対する市民の理解に向けた情報発信などが掲げられている。参考にして、今後の生活保護行政を充実させたい。

岡村議員はこのほか、情報公開のあり方についても質問しました。

お気軽に相談を
仕事・くらしの悩み

日本共産党生活相談所
電話・Fax　３２－５５９０
米子市富士見町１３６

岡村えいじ
電話 29－3475

http://jcpy.sakura.ne.jp/o/
ご意見をお寄せください。

## 小規模保育施設増設で保育士さんが足りない！

２０１５年度に始まった「子ども・子育て支援新制度」で、米子市は待機児童対策として０～２歳児を対象とする小規模保育施設を積極的に導入してきました。県内２４のうち米子市内に１５施設が集中しています。

このため、保育士の“引き抜き”が慢性化し、１４年度に公立から私立に移管されたばかりの夜見保育園では、保育士不足を理由に定員９０人のところ、受け入れを６８人にとどめている―との報道がありました。

小規模保育施設だのみの待機児童対策、孤立保育園の充実による根本的に見直しが必要です。

## 安倍三柳線が２０年に開通見通し

市道外浜街道線の浜橋付近で工事がストップしている都市計画道路・安倍三柳線の工事のうち、通称・外浜産業道路までの約４００ｍが２０２０年度までに開通する見通しであることが明らかとなりました。

この開通により、中海側の通称・内浜産業道路と外浜産業道路との間の通行がスムーズになり、慢性的な渋滞をきたしている長田産婦人科から外浜産業道路までの間約５００ｍの市道・上後藤下三柳線の渋滞緩和の効果が期待されます。

市道外浜街道線で工事がストップとなっている安倍三柳線

## プラネタリウムの存続に向け利用者の声で検討を

今年４月に就任した伊木市長は、私案としＪＲ米子駅にかかわる事業の一環として改築される駅ビルの行政スペースでのプラネタリウム活用を、と提案しています。

今あるプラネタリウム、１９８３（昭和５８）年に開館した米子市児童文化センターに併設された施設。直径１２ｍドーム、１２４の座席数は山陰随一といいます。

昨年度は年間１万５千人以上の来場があり、市内はもとより隣県からの来訪者も。またこの天文クラブで育ったある女性はＪＡＸＡに加わるなど夢とロマンを育んでくれる施設となっています。

児童文化センターにあるプラネタリウム

しかし、老朽化に伴い投影機や施設の維持に困難をきたし、どう存続させることができるのか、市民的な関心を集めています。岡村議員は、湊山公園内にある児童文化センターと一体となったプラネタリウム、ゆったりと子どもたち、大人も楽しめる施設の存続を願っています。

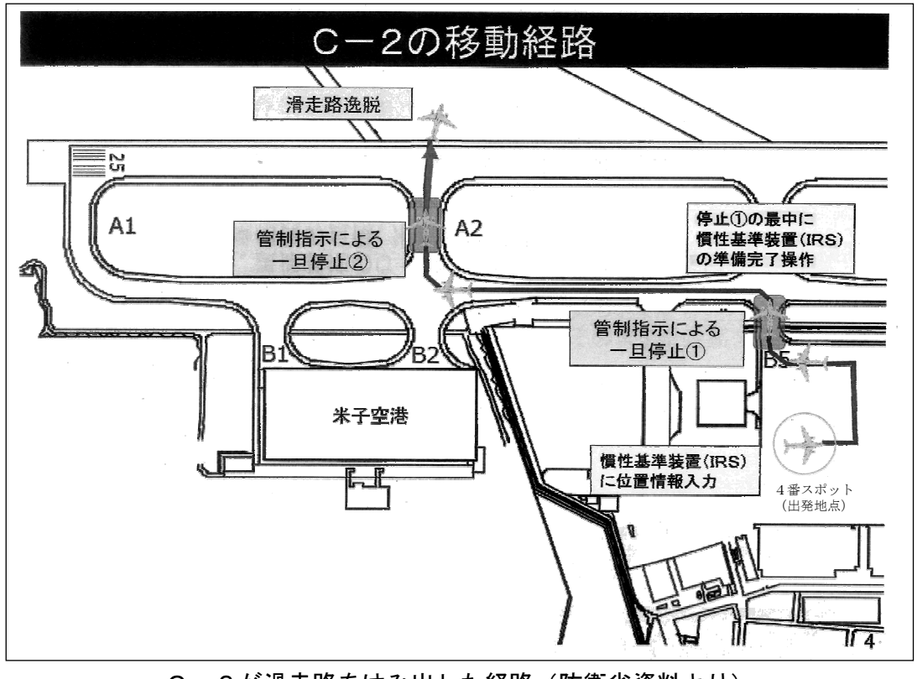
## Ｃ-２輸送機が滑走路をはみ出る事故

２９日開かれた市議会全員協議会で、６月９日に航空自衛隊美保基地（米子空港と共用）で発生した、今年３月に配備されたばかりのＣ-２輸送機の滑走路からの逸脱事故について、北村基地司令らが「事案」概要と安全対策について説明しました。

岡村議員は、民航機３便が欠航、２便に遅れが出るなど多大な影響があり、これは「事故」。「事案」と表現するのは受け止めが弱いのではないか！と質問。基地司令は「事故相当と受け止めている」と重大性を認めました。

また、機体の強度不足などで配備が遅れ、平成２８年度内配備を急ぐあまり安全体制の整備に課題を残したまま配備が強行されたのではないか。人為ミスをカバーする装置・機器の取り付けが必要ではないか―とただしました。

これに対し、基地司令は配備を急いだわけではないとしましたが、システムの改修の検討に言及しました。




Ｃ－２が滑走路をはみ出した経路（防衛省資料より）